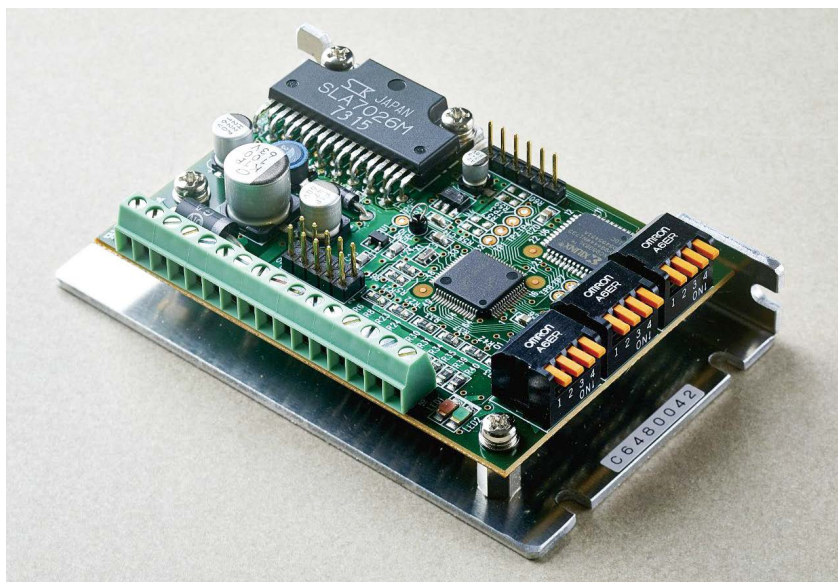


東阪電子機器株式会社

モータ制御をコア技術に 電子機器をカスタマイズ

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



2相モータドライバ製品の一部

主な事業内容

電子制御装置の開発・製造、
電子回路の製造

主な取引先(納入先)

半導体装置、自動車業界、食品業界、
自動化業界などのメーカー

主な製品

モーションコントローラ、モータドライバ、
プリント基板、卓上装置

業務内容

国内外2工場で
ロットに応じた生産対応

東阪電子機器は、モーションコントロール（モータ制御）をコア技術とし、電子機器のカスタマイズを得意とする企業だ。顧客の要望に応じて、基板やコントローラ、組込装置など多種多様な製品を作り続けている。ODMでの開発実績は、これまでに半導体業界や自動車業界など22業界、1,700機種に及ぶ。吹田市の本社工場と中国工場の2カ所の生産拠点で、ロットに応じた生産対応をしているのも特長だ。

創業は昭和59年。モータ製品の商社としてスタートしたが、その後、自ら製品を作るメーカーへと転身した。平成9年には早くも中国の生産拠点で本格的な製品出荷を開始。EMS（電子機器受託製造）、さらにはODMへと、国内外で国際標準規格ISOの認証取得を受けながら事業の幅を広げてきた。

強み
膨大な数の部品を
最適な形で組み合わせる

同社の強みは、30年以上に及ぶ電子機器カスタマイズを背景に、アイテム数において常時8,000という膨大

な数の部品を、最適な形で組み合わせる。モジュール設計できること。コストダウンと開発期間の短縮につながっている。2工場制を敷いているため、小ロットで付加価値の高い製品は本社工場、ロットの大きい量産品は中国工場生産しており、多様な注文に対応できる点も強みだ。

商社としてスタートした会社らしく、顧客とのコミュニケーション力の高さにも定評がある。仕様の打ち合わせ段階から、技術者も参加して付加価値のある提案を行うほか、アフターサービス体制の強化にも力を入れている。

万博
温度を自動調節する
衣服を展示へ

技術力の高さを生かし、はんに自販刻印機というユニークな自社製品も展開して、企業としての存在感を高めている同社。現在は、複数の企業と共同して人が心地よいと感じる最適な温度に調整する衣服の開発に取り組んでいる。2025大阪・関西万博では、体温に合わせて温度を自動調節する衣服の試作品を展示する計画であり、万博を好機としてさらなる発展が期待される。

社長あいさつ



代表取締役社長
永野 仁士さん

当社は従業員を含めた世の中の人々に“HAPPY(喜び)&WOW(驚き)の価値”を届け続ける企業をめざしています。モータ制御と電子機器のカスタマイズを強化するとともに、遠隔監視に特化したIoTと、Well-Being(心身ともに満たされた状態)に関する製品開発に取り組んでいます。

主な保有設備

- スクリーン印刷機 GPX FUJI製 1台
- 複合型装着機 XPF-L FUJI製 1台
- リフロー炉 AIS-20-82C エイテックテクノロン製 1台
- 外観検査装置 M22XDL-460 マランツエレクトロニクス製 1台
- 恒温恒湿器 PL-3SP エスベック製 1台



住 所／〒564-0053
吹田市江の木町
29-1

T E L／06-6337-7100
F A X／06-6337-7104

創 業／昭和59年5月

設 立／昭和59年5月

資本金／1億円

従業員／39名



2相モータドライバ製品の一部



モータ・コントローラ製品



<https://tohan-denshi.co.jp/>